

キット内容

- ・ 本革(切出し済み)
- ・ 縫い糸
- ・ 革ボタン 1個
- ・ 革ヒモ
- ・ 型紙
- ・ 製作手順書(本紙)

用意する道具

- ・ 丸ギリ(千枚通しなど)
- ・ カッター
- ・ カッターマット
- ・ 木づち(ハンマーや金づちでもOK)
- ・ ハトメ抜き 2.4mm

ONE POINT

内縫いは一回一回、しっかり引き締めながら縫うことがポイントです!

- 01 付属の型紙を、外側のカット線で切り抜く。
- 02 革に型紙を当て、輪郭を丸ギリ(千枚通しなど)でなぞって線を写す。また、点印の中心を丸ギリで垂直に突き、革に写す。
- 03 革をカッターマットの上に置き、カッターと定規で02で付けた線に合わせてカットする。また、同様に02で付けた点印の部分に、ハトメ抜き 2.4mm を使って丸穴をあける。
【check!】同じ形の「本体」パーツを2枚切出します。
- 04 2枚のパーツの穴の位置を揃え、オモテ面を内側にして重ね合わせる。
【check!】スエード面と滑らかな面、どちらもオモテとして使えるので、お好みで選びましょう。
- 05 口元に近い端の穴に糸を通したら、後端を5cmほど残し、口元側の革の端を糸で二重にかがって補強する。その後は、穴を並縫いで縫っていく。
- 06 反対側の端の穴まで進んだら、縫い始めと同じように口元側の革の端を二重にかがり、反対方向に縫い進める。
【check!】05の縫い目と互い違いになり、すべての穴間にステッチが入ります。
- 07 始めの穴まで戻ったら、糸の先端と後端で固結びを2回し、しっかりと留める。
- 08 本体をひっくり返して形を整える。
- 09 口元の「ひも穴」に革ひもを並縫いで通す。
【check!】革ひもが穴に通りにくいときは、ひもの先端にセロテープをきつめに巻きつけて固くすると作業しやすくなります。
- 10 すべての穴に革ひもを通したら、ひもの両端を革ボタンの2つの穴それぞれに通す。
- 11 革ひもの端を固結びで留めたら完成♪